

UDON-YA Presents

For Adult Only



馬太

テューサ。

Fate/hollow ataraxia fan book

ここは形なき島

ある者は名を上げようと

女怪メテューサに挑み、石像と化し、

ある者は女神を娶ろうと馳せ参じ、

からかい尽くされた拳句死に至る。

おお勇者よ、汝が男であるのなら引き返せ。

ここは最果ての島、絶世の美女が楽食う魔の楽園。



駄

メテューサ。

Fate/hollow ataraxia fan book  
UDON-YA Presents

## \*\* Contents \*\*

---

- 03 乳メジャー
- 34 Rough & あとがき
- 36 さわやか4コマ いんちゅうくん

## \*\* まえがき \*\*

---

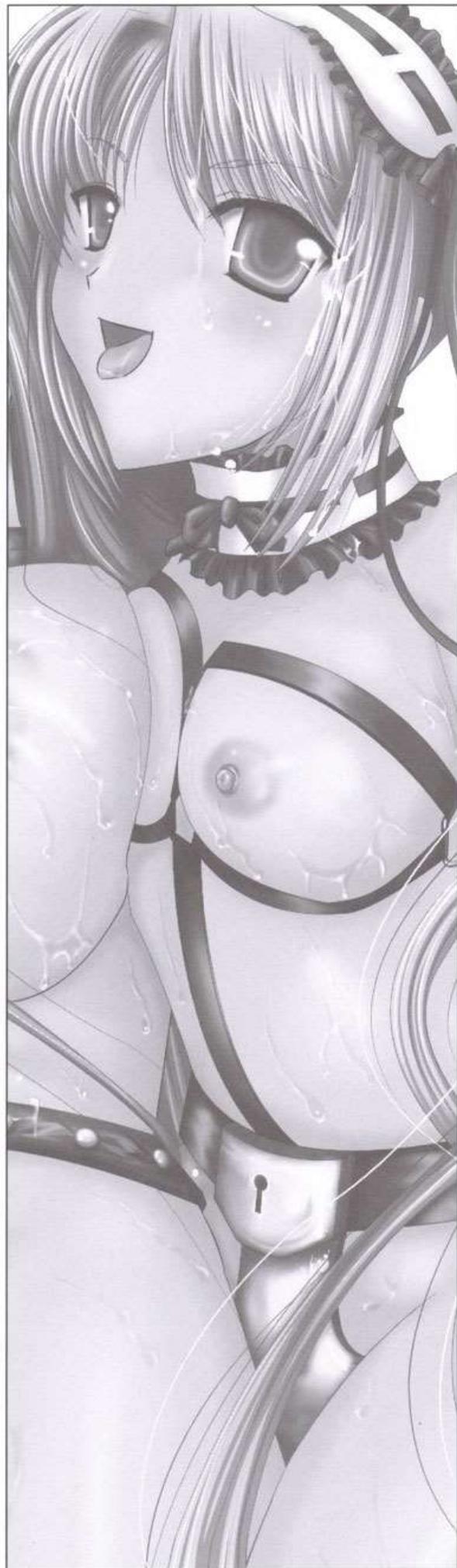
こんぬつわ！

うどんや代表じゃない方の ZAN です  
 こんな直球な表紙の本を手にとっていただき  
 真に！真にッ！ありがとうございますっ  
 部屋に置いとくのとか人に見せるのが恥ずか  
 しい表紙ですいません！

もうベッドの下あたりに置いといて下さい。  
 ちなみに今回、表紙のライダーの乳のつぶれ  
 具合などに個人的な情熱をぶつけてみました。  
 やはりあれですよ。

乳は若干張りがなくなりかけの寸前というか、  
 張りがあるんだけどもぽいんぽいんというか、  
 地球の重力に逆らってるんだけどもちょっと負  
 る予感がするあたりというか、  
 そんな若い乳の直後にほんの一瞬だけ訪れる  
 彗星のような輝きがベストオブ乳だと思うんで  
 すがどうでしょう。

たぶん俺だけかもしれませんが。  
 それでは本編始まりです！どうぞ！



——長女ステレン。

優雅な仕草、溢れる気品、思慮深い言動。それをとっでも理想の女神と言われた女神



こんな島へはるばるようこそ。歓迎いたしますわ

——次女エウリュアシ。

屈託のない仕草、こぼれるほどの笑顔、無垢な言動。どれをとっても理想の少女と言われた女神。



まあ、私たちにプロポーズするために命がけで…？

嬉しい…

彼女たちは末女のメテューサと違いよく人間を好んだ。

島に訪れた男たちを歓迎し、彼らを癒した



そっけ…

でも…



ぱっちこーい!!



おもむろに結婚をせまる男どもを  
手玉に取っては楽しんでいたそうなの。

私たちが結婚するまで処女で  
いるって決めていますの

なのであいにく、この  
貞操帯は外せませんが…

それでも、満足させて  
いただけののですしたら  
この処女を差し上げてもいいわ



すごい…もう  
こんなになってますわ…



私達を見てこんなにして下さるなんて  
うれしいです…



遠慮なさらず  
お脱ぎになって

まずは私達が  
して差し上げますわ

ハア  
ハア



うう。  
また始まってしまいました…

カチ

川ア…

んん



あは…すごい…もう  
こんなにぬるぬるして…

ん…んぐ…

ちゅわん



こちらも…先っほ  
から先走りの液が…

ちゅわん



はあ…

ちゅわん

もうこんなに固くなって…



んむう…っ!!

んは…!!

ちゅわん



ああ…すごい…!  
ふひおらはれひひひひ  
口の中でびくびく動いてる…

もう…イキまじう  
はんれふは  
なんですか…?

ちゅわん



いいですわ…どうぞ  
私達の口にお出しになって…

一滴残らず飲み干し  
ますから…っ



ん…んんっ!

…っハア  
すい

濃いのがいっぱい…

それに…こんなに出したのに  
まだ萎えてませんわ…

もう我慢できません…

ふかっ

あの…私達も

気持ちよくして下さいませ…

うわっ

ひゃあっ!

そんな…いきなり舌で  
するなんて…

それに…

こんな格好の  
ままだなんてえ…っ!

うわっ

うわっ

うわっ

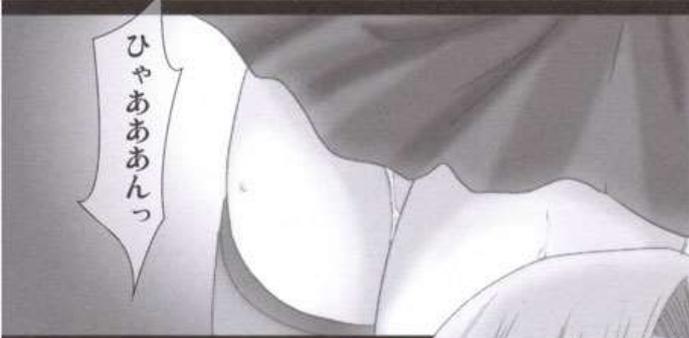
あ

あ

あ

あ







それもそうね...  
でもその前に...

ふふ... いいじゃない  
エウリュアレ

どうせまた神殿に  
オブジェが増えるだけよ



はあ... またプロポーズかしら  
どうしてこう人間って...



えーと...

今日の殿方は私達の方に  
用があるみたいね



はっ  
はいいっ!

メデューサっ



駄目よ。そんなんで  
許されると思ってる?

貴女は罰として今日これを付けたまま  
見学してるのよ。いい?

え... それはどうして...



貴女、さっきはよくも  
私が血を吸うのを  
嫌がって逃げたわね!

最近なんだか反抗的じゃない?  
駄メデューサのくせに

ひい...っ  
ごめんなさいい

貴女にも私達と同じように  
淑女のたしなみって物を  
教えて差し上げようかと思っ  
てね？

言っておくけど、  
もし断ったらもっと  
ひどい事になるわよ？

ううっ  
分かりました…

上姉さま  
下姉さまあ…

こんな…こんなもの  
付けさせられたまま…

くらっ…

たひ  
たひ

あんなの…  
見せられたらあ…!!

ああ…そんなに  
お尻されたら…っ

見てください…

貞操帯の横から私のえっちな汁が  
あふれてきてますわ…

ああ…  
もう我慢できません…

これを…おしりに…  
おしりにい…っ

っああ!

あ…はっ  
すこ…いっ  
少しずつ…少しずつ  
入ってきますう…っ

ぬ

ぽ

ぽ

はあ…  
やあ…  
広がっ…

きゅ!!

おち!!

はあ…  
やあ…  
広がっ…



はあ...  
お尻の穴が...

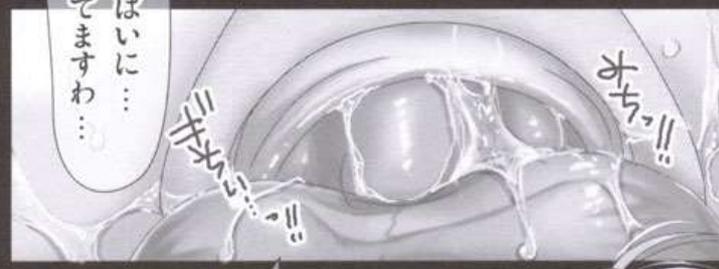
いっぱいになっ  
てますわ...



はあ...  
はあ...

はあ...  
はあ...

はあ...  
はあ...



めちっ!!

はあ...  
はあ...



はあ...  
はあ...

はあ...  
はあ...

はあ...  
はあ...

はあ...  
はあ...



はあ...  
はあ...

動いちや...

はあ...  
はあ...



激しく...出入りして...

はあ...  
はあ...



はあ...  
はあ...

はあ...  
はあ...

はあ...  
はあ...



姉さまたちのお尻の穴に...  
あんなに太いものが...

はあ...  
はあ...



出してっ！

中じ...  
びびびびびびびび...

私の中で殿方のものが  
ますます固くっ...脈打って...っ

私たちのケツ穴にせーえきいっばい  
そそいで下さいませ...っ！

スツツツ

ズツツ

スツツツ

スツツツ

ズツツ

すま...

ズツツ



つはあ...っ

ズツツ

イッちゃ...っ...っ!!

私たちがもっ

イクッ

ズツツ

ズツツ...っ...!!

ズツツ...っ...!!  
ズツツ...っ...!!  
ズツツ...っ...!!

ズツツ

ズツツ



すごく…気持ちよかったです

それで…あの…



はあ…

はあ…

おしりの奥まで…  
精液いっぱい溜まっていますわ…

ちゅるちゅる



んっ…  
は…

あっ…ん

ぬるる…



ケコーン  
キター!



ニヤニヤ

ニヤニヤ

ひいっ!  
逃げ…



何いいい—!

メデューサ!  
いつものようになさい!



貴方がたも、  
永遠に私たちのものに…

というこたえ

お約束どおり神殿のオブジェ  
になっていただきますわ!

ギョギョギョ



無駄です!



それにしても、今回の  
オブジェは中々の出来ね



うふふっ  
そうね



あははっ

本当に結婚できると  
思ったのかしら

私たちの処女を捧げるなんて  
まっぴらだわ



ところで…メデューサ

は…はいっ



こんなポーズで固まってる  
石像なんて中々ないわよ

それにいろいろと  
使えそうよ…ふふっ



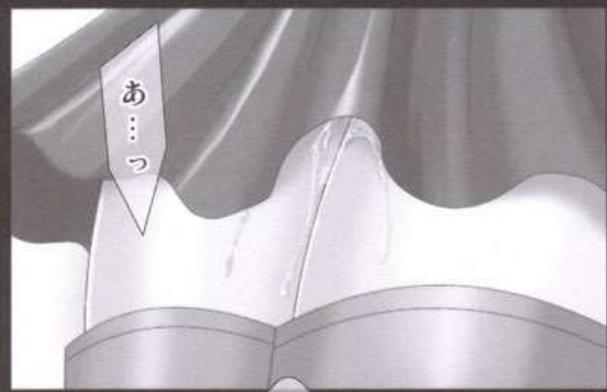
気のせいかしら  
さっき私達が遊んでいるときに

貴女の声がしたような  
気がしたんだけど…？

…！

そういえば、なんだか  
顔が赤いわよ。  
どうしたのかしら…

そっ…それは  
…あの…



あ…っ



え…



あらあー？  
今見えたのは何かしらー？

何を隠したのかしらー？



っ…やっ！

ああっ

はっ！！



メデューサ  
スカートをめくりなさい

っ姉さまっ！



すごい！  
こんなの初めて  
みたわよ、私



嫌あつ…  
こんな…っ



この太ももに伝ってる  
液体は何かしら？

ほら、もっと足を開いて  
見えるようになさい

あははっ  
何これっ？

…う…  
分かりまし…



あら？どの口がそんな  
事を言うのかしら？

こんな所を見せる  
なんて…え

も…許して下さい…い

ひっ…くっ



それじゃ…  
そこに座って足を広げなさい



貴女に淑女の心構えを教えようと  
これをつけさせたのに…

あ…

私達がしてるの見て  
こんなにするなんて…

なんて淫乱な妹なのかしら

うっ…いやあ



くっ…う…  
分かりました…



ふふっ  
まずはこれを取るわよ

あ...あつ

それにしてもすごい濡れようね

そんなに興奮したのかしら  
メデューサーったら

いやあ...見ないでえ...

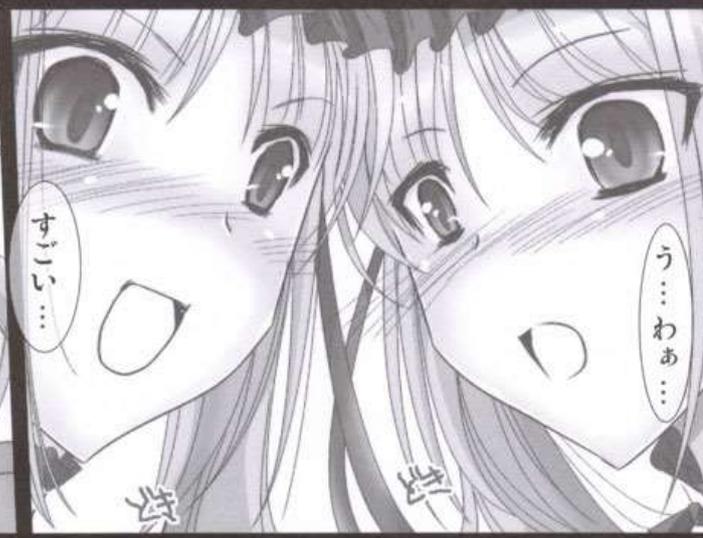
かおあ...  
あわっ



こんなに濡らすなんて  
予想外よ...

ううっ...

いや...あ



う...わあ...

すごい...



ここまできやらしい匂いが  
漂ってくるわよ

ほんとに軽くいじめるだけの  
つもりだったのに...

貴女みたいな変態には  
もっとお仕置きが必要ね

ひっ  
そんな...あ!



貴女はじっと耐えるのよ

あ...あつ...だめえ...



今いじったらどうなっ  
ちゃうのかしらね...



な...なにを...



ひいっ!

あはあああっ!



ひゃあああ!

ひゃあああ!!



えいっ

ひっ...



こっちもされたら  
どうかしら?

いひゃあああ!

だめえ! ああ



あはははっ  
おま○こめくられて  
そんなにイクなんて

だめえ...!!





ほんと駄メデューサーね  
これでもっとお仕置きが  
必要になっちゃったわ

あ：  
ああっ

どうしてくれるのよ！



ちよっと  
私の指どころか服まで  
濡れたじゃない！

<た...



それにまたがりなさい

え...それは...  
それだけは嫌あつ！

嫌です姉さまあ！

今更それぐらい  
何なの？

貴女の処女は前に  
私達で奪ったじゃないの



ひゃあああ...  
姉さま...

も...無理ですう...  
後生ですから...許...

駄目よ。

それ。

さっきの石像

そういえばあれも  
お仕置きだったわね

の？  
今度も同じようにされたい？

ひいっ…  
えぐ…

そうそう

さっきの私達と同じようにね

くっ…うう…

うぐ…えっ  
はあ…い…

後の事は分かってるわね

その石像のアソコを  
あなたのいやらしい  
穴にいれるのよ

はあ…い…  
姉さま…

んっ

はあ…っ  
きつい…です…うっ

ふふっ

このオブジェも  
さっきのメデューサがこんな事に  
なるなんて思ってたでしょうね

くふう…っ

ふふ…そうよ  
そのまま奥まで挿れなさい

ふああああ！

ぎちいっ！！

ぬちゅっ  
ぬちゅっ  
ぬちゅっ



すごい  
一気に飲み込んだわね

次はその格好のまま  
動くのよ

ひい…くう…

さっき私達がしてた  
みたいに

はい…  
姉さま…



ぬるぬる

ううう

ぬるぬる



ぬるぬるー

ふ…うう…



はひい…っ

ぬるぬる



は…っ

ぬちゅっ



姉さま…っ  
石がこすれて…

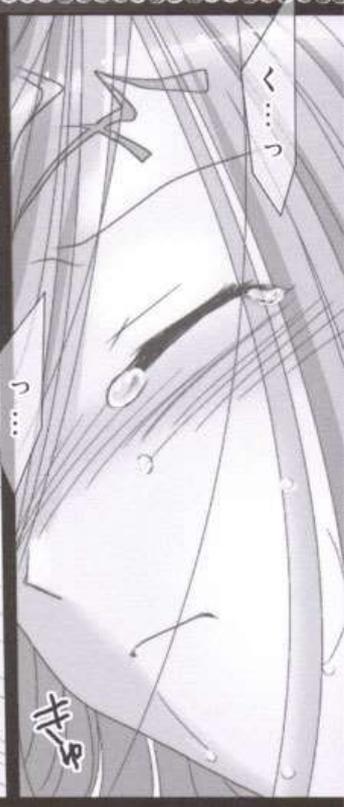
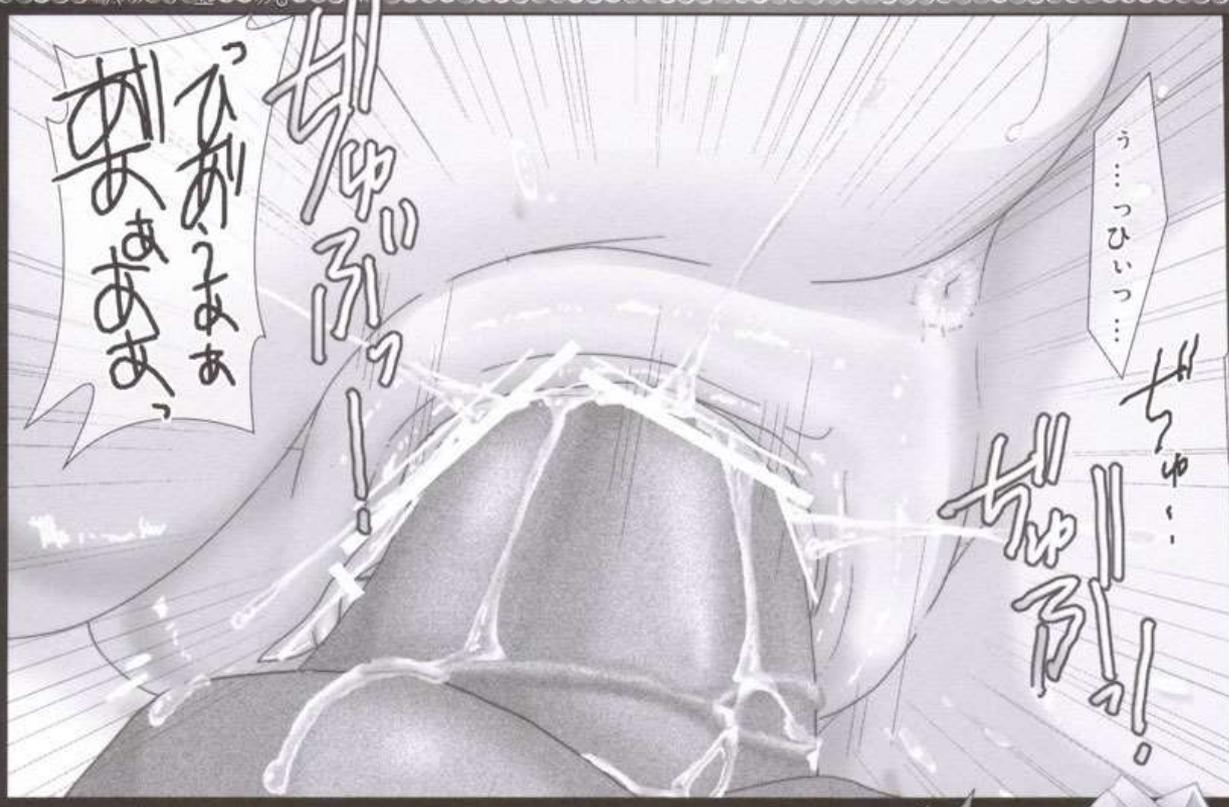
姉さまみたいに…  
動けま…

だめよ  
もっと早く  
動きなさい

ぬるぬる

ぬちゅっ

うう…はい…  
ひ…はあ…







ほらっ！こんなにいっぱい  
汁を出して！

気持ちいいんでしょう？  
この変態！

ああああっ！  
気持ちいい……っ

気持ちいいですっ



あははっ！

すごいわ……貴女の中で  
私の指と石がこすれて……



ひっ！

あぐう……  
姉さまの指が……  
私の中でごりごり擦れて  
ます……う！



ねえ、メデューサ？

ひぐう……っ



私も……もう我慢が……

ひあああっ！



すごい……メデューサの  
お尻に指が入って……  
あんなに腰を振らされて……



はあ……い  
姉さま……

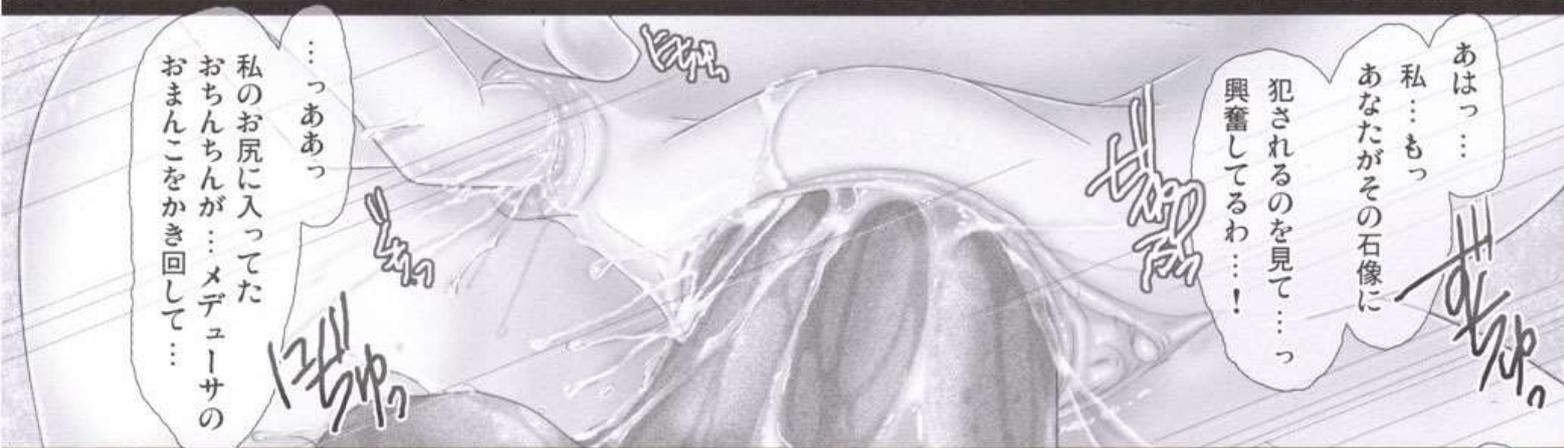
さっき……どうしてあんなに  
濡らしてたのか……  
詳しく教えてくれないかしら？

あ……っく

そ……それは……っ

姉さまたちが……あつ  
あんな男たちに犯される姿に  
興奮して……えっ！

はあっ



あはっ……  
私……もっ  
あなたがその石像に  
犯されるのを見て……っ  
興奮してるわ……！

……っああっ  
私のお尻に入ってた  
おちんちんが……メデューサの  
おまんこをかき回して……



ほんとに……っ？  
うれしい……姉さまの穴に入ってた  
おちんちんがあっ♡

私の……おまんこにい……っ♡

ああん……  
メデューサ……

私とも……  
私ともしてえ……っ



んふ...ううっ!  
んふ...  
んふ...



んふうっ!  
んふ...  
んふ...



っああ...  
下姉さまあ...  
んっ



んっ...  
んふ...  
ん...んっ!  
んっ



っは...  
はあっ  
っあ...っ  
んっ  
んふ...  
ん...んっ!  
んっ



いいのよ...今日は...あ  
特別...だから...



ね...えっ  
メデューサ...  
私の血...吸ってもいいわよ...  
いつも...私ばかり...っ  
吸ってる...からあっ  
え...そんな...  
下姉さま...?   
んっ



ふあい...ああ...  
下姉さまあ...  
んっ





もっ気持ちよく  
して上げるわ……!

いやああ……っ!  
そんな……そんなところ……  
噛んじゃ……ああ……!

あは……っ

首とおっぱいから血を  
吸われて……

その上両穴に突っ込まれて  
感じるなんて……  
なんて淫乱な妹なのかしら……

ああっ……ごめんな  
さいっ……私……

私えちちな妹  
なんすま……っ  
……っ



はあ……私にもお……  
メデューサの血……



お尻……お尻の中で  
姉さまの指が……

いっばい動いて……  
はっ……はっ……

ああっ……!

い……ぐうっ……!

も……らめ……れえ……っ



ひゃああああ……!



ああ…

メデューサのおっぱい…  
おいしい…

ひっ…!



あぐうっ!

ひい…嫌あ…  
柔らかくしちや嫌あ

あぐあああああ!

ほら…分かる?  
メデューサのお尻  
いじりすぎて…

こんなに柔らかく  
なったわ…

ちゅっ

ちゅっ



ふふ…  
メデューサのお尻  
こんなに広がって…

可愛いわよ  
メデューサ…

ひっ…あ…  
姉さま…私の…  
私の事可愛いって…

あは…そうね…  
ほんとに可愛いわ…  
私のメデューサ…

ああっ…そんな…!  
姉さま…っ  
姉さまああああ!

ちゅっ

ちゅっ

ちゅっ

ちゅっ

大好きなこれさうさ

あ、好き...

大好きっ...!!

私...私も...お

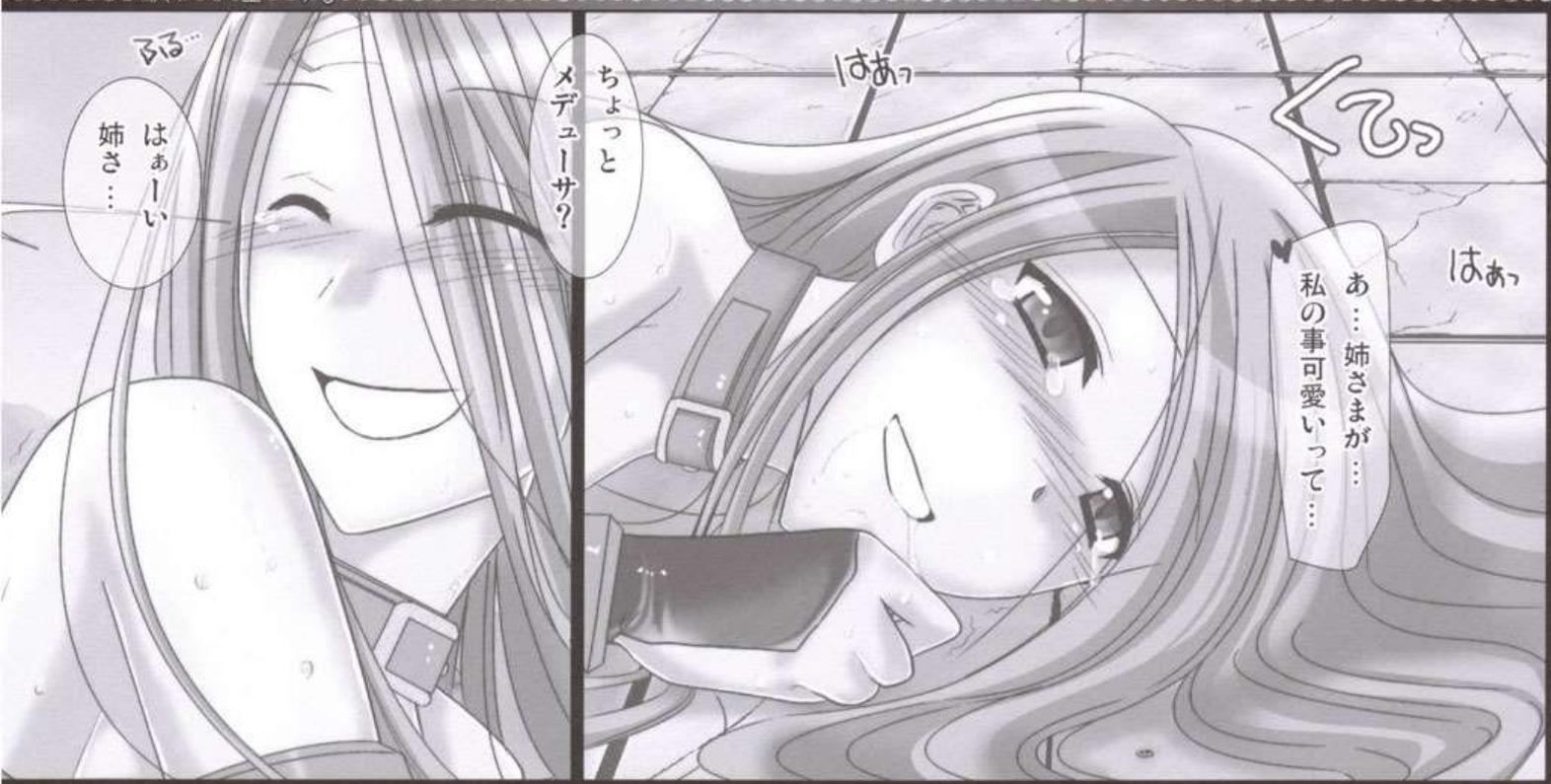
姉さまたちの事...

30...

11/14

19/2

30  
11/14  
19/2



はあーい  
姉さ...

ちよっと  
メデューサ?

はあ

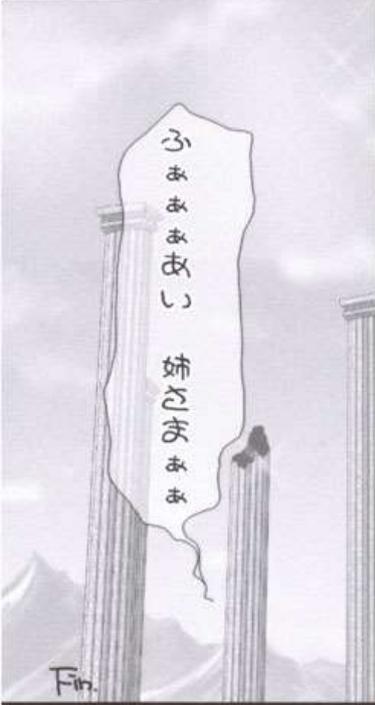
あ...姉さまが...  
私の事可愛いって...

はあ



はあーい  
はあーい  
はあーい

はあーい  
はあーい  
はあーい



~~~~~  
姉さま  
~~~~~



はあ



あー疲れた  
風呂入ろっと

それ、汚れたから  
ちゃんと洗っとくのよ

終わったあああああああああ!!!!  
亜lskふあlkjふあさpk s m d fかpsだ

ハアハア…はじめまして、今日和。  
絵描き&アル中の方です(\*´ω`)/  
「駄メテューサ。」お手に取っていただきまして、  
ありがとうございました。  
物凄い難産だったので、ここを読んで頂けている  
事に…もう…感無量です(; 皿;) ありがちよお

そして体調不良によって発行延期のご迷惑と  
ご心配をおかけして申し訳ありませんでした。  
その為裏表紙の発行時期が Winter になってますが  
スルーしてください( 〇 )ノあうう

一度姉イラストを描いたときに何故かやたらと時間  
がかかったのをすっかり忘れておりますた;;  
でもライダー好きとしては「姉さま本出さねば！」  
という勢いで生まれた姉妹汁盛り。  
いかがでしたでしょうか？

キ〇ガイじみた汁塗りに発狂しま  
したがワタシハ大丈夫です。  
大丈夫。大丈夫(自分に言い聞かせ)  
夏コミまで Non☆Stop で  
描き続けます！次はサンクリで  
セイバー本 Daaa (・v・)  
ってもう時間が押してるよ！  
頑張るよ！がんばれ我！

とりあえずはお疲れ！！って事で  
旨い酒が呑みたいです(\*´v`)  
温泉とか入りたいです(\*´v`)  
ああ…オサーンだなあ…

ではではまたお会いできる事を  
楽しみにしております♪  
(・v・)ノ

鬼月あるちゆ

お掃除するのめんど  
ぢやんと寝てしまて



というわけでゴルゴン3姉妹本でした！  
もうやる前から「この服のひらひらとかやばい」  
「貞操帯漫画にするとかやばい」  
「そんなの3人も描くとかもっとやばい」  
とやばいやばい言ってたんですが、誘惑に負けて  
やってしまいました。案の定ばりばり時間かかり  
ました…。

今回非常に非常に予定よりも遅れてしまい、  
楽しみにしてくれてた方にはほんとにすいません  
でした。おそらく最大の原因は、塗りにめちゃん  
こ手をかけてしまった点だと思います。

資金的にまだまだフルカラー本が出せない  
フラストレーションが  
「そうだ！グレーでフルカラーっぽい塗りを  
やったらええやんけ」という意味不明な行為に  
ぼくらを駆り立ててしまったのです。

40ページ本なのをすっかり忘れて  
「うわーいフルカラーっぽい塗りだぜうわーい」  
とはしゃぐぼくらを待っていたのは、塗っても  
塗っても一向に終わらん地獄でした。

そんなわけで、超ぐだぐだになりつつもやっと  
この本が完成しまして、感無量っていうかもう  
寝たい。そんな感じです。

最後になりましたが、  
こんな端っこの部分まで読んでいただきありがと  
うございました！  
また次の本でお会いできたらうれしさ全開です。  
では寝ます。

ZAN









■ 駄メ デューワ。 ■

着 : 鬼月あるちゅ & ZAN

発行 : うどんや

発行日 : 2006/04/02

連絡先 : silky1201@hotmail.com

H P : <http://udon.kill.jp/>



駄メ デューサ。



**\*\*2006\*Winter UDON-YA Presents\*\***  
For Adult Only